

コンピュータで得る自由

ICT社会教育センター伝言板 -series twenty-five-



二段階認証(二要素認証)とは…

インターネットバンキングに対応する銀行が増え、いつでもどこでも振り込みなどの取り引きができるようになりました。便利な反面、セキュリティに対する意識が甘いと簡単に不正な取り引きをされてしまうかもしれません。そこで使われているのが二要素認証です。

例えば、パソコンを使って振り込みをしようとするときに、取り引き用のパスワードを入力した上で、スマートフォンの銀行アプリに表示されるワンタイムパスワード(この取り引きの時だけに使用できる1回限りのパスワード)も入力することがあります。

スマートフォンを手元に置いておかないと取り引きができませんし、ちょっと煩わしく感じますが、この煩わしさが重要なのです。パスワードが入力できることと、スマートフォンを持っていること、この二つの要素で本人かどうかを判断しているのです。

ここで使用する要素は、「知識」「所有物」「身体」です。様々な場面で使われている文字や数字のパスワードは「知識」です。パスワードを知っているから本人だと判断します。「所有物」は前述の例だとスマートフォンです。

現在は多くの人々がスマートフォンを肌身離さず持っていることが多いので、そのワンタイムパスワードが表示されたスマートフォンを持っている人は本人だと判断します。「身体」は指紋認証や顔認証など、その人の身体的特徴を使って本人だと判断します。これらを組み合わせて利用することで、より安全にサービスが利用できるようになります。また、パスワードが流出しても、他の要素も認証に必要だとすれば、すぐに悪用されるというリスクが減るでしょう。



つなぐ知 かなえる技

大阪電気通信大学

Osaka Electro-Communication University

電話：072-820-3871

メール：ict-edu@osakac.ac.jp

